

THE ROTARY CLUB OF MIYOSHI CHUO

三次中央会報 ロータリークラブ

事務所 / 広島県三次市十日市東 1-16-19
TEL (0824) 64-1245
FAX (0824) 64-1245
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp
http://mcrc.server-shared.com
例会場 / 広島県三次市十日市南 1-10-1
三次グランドホテル
例会日 / 月曜日 12:30~13:30

2023-2024 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

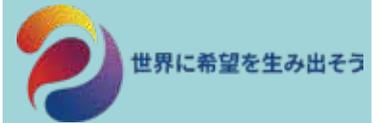
■本日のプログラム 出前講座 / 三次市役所 まちづくり交通課
移住定住推進係 係長 永井宏明様
テーマ 定住対策最前線の取組
~ずっと住み続けたいまちをめざして~

■次回例会日時 2024年5月20日(月) 12:30~

■次回プログラム 出席委員会、SAA

会長 / 上田 秀 樹
幹事 / 栗本 清 秀

●2023~24年度 国際ロータリーのテーマ



●2023~2024年度 三次中央RCスローガン

平和を実感し、
ロータリーをもっと楽しもう

■第1422回例会記録

●日時.....2024年4月22日(月) 19:00~

●点鐘.....会長

●国歌「君が代」斉唱.....全員

●ソング「奉仕の理想」.....全員

■開会挨拶.....上田会長

地区研修・協議会お疲れ様でした

皆さんこんにちは。昨日は光永エレクトをはじめ9名が地区研修・協議会に参加されました。お疲れ様でした。後半での報告をよろしくお願ひいたします。

先週の土・日曜三次きんさいスタジアムで行われた春季県高校野球県大会を観戦しました。一年生も加わり新チームでの公式戦、キビキビした選手の動きに元気ももらいました。

この大会会場は、尾道市のぶんちゃんしまなみ球場、広島市のバルコムBMWベースボールスタジアム、三次市の三次運動公園野球場、呉市の鶴岡一人記念球場、福山市のエブリイ福山市民球場の5カ所で開催されています。広島県立びんご運動公園全体の命名権は尾道市に本社を置く海産物問屋「カタオカ」がやっています。創業者で野球好きの片岡文彰の愛称である「ぶんちゃん」をもじったものです。契約金は300万円です。

呉二河球場は呉市出身でもとプロ野球選手「グランドにはゼニが落ちている」の名言を残した鶴岡一人氏を冠にしています。広島県営球場のバルコムスタジアムの命名権は年間500万円、福山の福山市民球場は200万円だそうです。三

次きんさいスタジアムの命名権の締切は4月12日までだったそうです。どの企業がいくらで契約するか楽しみです。

中国大会は6月1日~4日までで、主管は広島県なので4校が選ばれて行われます。

会場は呉の鶴岡一人記念球場と東広島アクアスタジアムです。行って応援してください。

また、4月19日日本高野連は今年の夏に行われる夏の甲子園大会から、暑さ対策として一部の日程で試合を午前と夕方に分ける2部制を導入することに決定しました。大会第一日から第三日の試合数を一日3試合として実施するというものです。暑さがピークとなる時間帯を避けるのが目的です。選手だけでなく保護者観戦者にありがたいことだと思います。

皆さんのテーブルにあるキーホルダーは沖会員からのプレゼントです。ありがとうございました。



■幹事報告.....栗本幹事

- 4月29日、5月6日は休会です。
- 次回例会5月13日は昼例会です。
- 5月13日午後7時より第11回理事役員会をグランドホテルにて開催します。
- 東城ロータリークラブ創立60周年記念式典にご参加の方は、サングリーンを9時に出発します。
- 本日のアルコール追加は500円です。

■myさくら手入れ.....松本会員

5月19日(日)午後3時よりmyさくらの手入れをします。1~2時間の予定です。ご協力ください。

■出席報告.....山縣委員長

●第1420回4月1日

会員数	36名	Make-up	3名
欠席	4名	出席合計	34名
欠席者のうち規定免除	1名	出席率	97.14%

- 第1422回 本日の出席は36名中29名です。
- Make-up...池田君(IM)、和田君(IM)、中島君(IM)

■SAA.....池田SAA

●会員ニコニコBOXへご出宝

- 山縣君 妻の誕生日にきれいなお花をありがとうございました。本日は地区協議会報告をします。よろしくお祈いします。(大)
 - 上田君 夜間例会。報告よろしくお祈いします。
 - 信国君 昨日、地区研修・協議会へまいりました。本日報告いたします。
 - 杉谷君 昨日、研修会の出席、ご苦労様でした。
 - 沈君 地区研修・協議会へ参加しました。発表します。よろしく!
 - 中西君 昨日は地区研修・協議会、ご苦労様でした。本日報告させていただきます。
 - 平田君 地区研修会報告します。
 - 池田君 地区研修・協議会お疲れ様でした。発表します。よろしくお祈いします。
- 「地区研修・協議会お疲れ様でした。夜間例会よろしく。」
 沖君、井上君、小根森君、栗本君、山崎君、和田君

ニコニコBOX本日出宝額 18,000円

こもれびの小道
エビネランが花盛り

奥田元宋小由女美術館のこもれびの小道で、三次中央ロータリークラブが寄贈したエビネランが花盛りです!
美術館は4月27日にリニューアルオープンし、連日盛況の様子です。鑑賞に行かれる際には是非小道にも足を運んで下さい。

投稿:小根森直子



会長・幹事部門

次年度会長
光 永 義 則



昨日、広島国際会議場にて開催された地区研修・協議会に9名が出席しました。プログラムとしては13時より、合同本会議第一部、基調講演は「ロータリーの力」と題し、第3地域ロータリーコーディネーター 滝澤氏が講演されました。14時50分より、分科会が8分科会に分かれて開催され、16時35分より、合同本会議第二部「10/25～27 岩国での地区大会について、そして当日のまとめ」で点鐘、終了となりました。そして、会場が移動となり、17時30分～19時まで「ホテルグランヴィア広島」にて懇親会が開催されました。

私は、会長・幹事部門の分科会へ出席しました。テーマとしては、

- ①クラブを元気にしよう
- ②クラブ文化の見直しとラーニングによるクラブの活性化
- ③ガバナー補佐によるグループセッションでした。

グループでは二つの課題について討議され、

課題1・・・クラブ文化の見直し（会員満足度向上、より幅広い人の入会）でクラブの課題をどのように把握するか（DEI、若い人、女性、経営者以外、外国籍等の人の観点も）そして、課題に対してどのように対策案を作成し実行するかでありました。

課題2・・・会員増強では増強対策として、どのような取り組みを行なうか、できるだけ多くの会員に会員増強に取り組んでもらうためには、従来よりも幅広い候補者にアプローチするためには、特に、若い人、女性、経営者以外、地元出身でない人など（転勤族、個人営業、独立志向サラリーマン、リタイアした人、主婦）、また、衛星クラブとして（食事なし、低会費

「10万円以下」、夜間例会、月2回）でありましたが、課題対策においては色々な対策が考えられますが、私はクラブビジョンを掲げ、そのクラブに合った対策が必要ではないかと思いました。しかし難しいことかもしれません。

以上、私の分科会の報告とします。

クラブ管理部門

次年度
クラブ管理運営委員会
担当理事
信国 秀昭



2024-25年度 地区研修・協議会に出席して参りました。

13時合同本会議が始まり、休憩をはさみ14時50分から分科会が開催されました。私はクラブ管理運営委員会に参加致しました。岩国ロータリークラブ藤本様の進行でスタートし、カウンセラーに徳山ロータリークラブ「石川良興」パストガバナーが務められ基本方針が発表されました。

1・クラブの活性化を促進するため、他クラブはどのような活動や手法をもちいているかなどを紹介し、今後のクラブ活動に繋げていく。

2・クラブがより良くなるために変化し、ロータリーの強さを維持できるようにする為、手段の一つとしてD/E/Iの推進を図る。

D/誰もが E/笑顔で I/居心地の良い の推進を図る。

DEIの言葉は何回も出て参りました。

Dは（ダイバシティ / 多様性）Iは（インクルージョン / ビジョン）と言う意味にも訳されます。すなわち多様性の中にも計画性を融合させよう。というものです。

次に、分科会テーマとして、

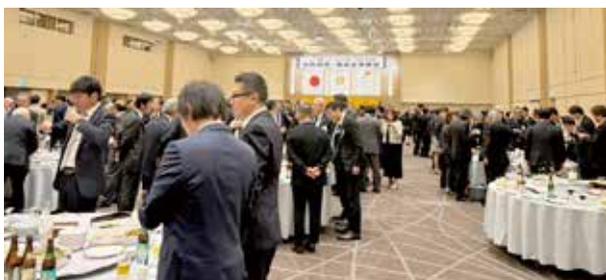
- 1・クラブ運営の活性化対策の検討 (約30分)
- 2・クラブでのDEIの推進。昨年神戸で行われた内容をビデオ鑑賞しました (約50分)

課題として

- 1・マイロータリーに登録してください。その中で「ラーニングセンター」を利用しロータリーの情報を確認してほしい
- 2・行動計画を3ヶ年分作りましょう (単年度ではなく) その中で「不易流行」と言う言葉を用いられました。いつまでも変化しない本質的なものを忘れない中、新しく変化を重ねているものを取り入れていく事です。

私はこの度、多くのロータリアンと再会致しました。ここで皆様にお尋ねします。

貴方にとって「ロータリー」とは何ですか?それは「繋がり」であり「絆」だと思います。わがクラブの会員のみならず、多くのロータリアンと「繋がり」を持ち「絆」を深めてまいりましょう。そしてロータリーを楽しみましょう!



公共イメージ部門

次年度幹事 中西佳代子



カウンセラー 前田茂パストガバナー

基本方針

①地区・クラブのホームページ等による情報発信促進、地区HPの改定検討

地区および各クラブの奉仕活動情報を中心に各々のHPから積極的に発信するとともに、各報道機関に対して事前に情報提供を行う。

また、地区のHPの改定を検討する。

②ロータリーデーでの宣伝、及びロータリーの友への投稿

ロータリーデーにおいて地区および各クラブの奉仕活動等の情報を発信するとともに、ロータリーの友への投稿を促進する。

③クラブ及び会員のデジタル化推進、ガバナー月信のPDF配信支援

SNSを積極的に導入するとともにガバナー月信をPDFにて配信できるようメール活用を推進する。

④マイロータリーの登録推進、ラーニングセンターの受講促進 (クラブ会長・幹事)

マイロータリーの登録率およびラーニングセンターの受講率を向上させるよう各クラブの呼びかけを強化する。

分科会テーマ

基調講演を行い、各委員会の役割を理解していただき、SNSの活用や広報活動の参考にさせていただく。

青少年奉仕部門

次年度
青少年奉仕委員長
沈 勝義



奉仕プロジェクト部門②の青少年奉仕委員会について報告いたします。

先ずは担当役員ですが、カウンセラーにはパストガバナーの杉川さん。青少年奉仕委員長は岩国RCの末河さん。ローターアクト委員長は同じく岩国RCの檜迫さんで、インターアクト委員長は柳井RCの石橋さん、そして青少年交換委員長には岩国RCの豊田さんがそれぞれ就任されています。この委員会では3つの基本方針を掲げています。

1つ目は、2024-25年度RI会長のテーマと上田ガバナーエレクトの信条「行動しよう、未来のために。=変革に取り組もう=」を踏まえ、国際的な視野を持つ健全な青少年の育成を図ることを目標に各委員会がそれぞれの役割を認識し活動すること。

2つ目は、平和構築、世界の分断を癒すための取り組みを踏まえ、各委員会はクラブをより魅力的なものとするために行動するように、行動計画を推進しロータリーのマジックの実践を目指すということ。

3つ目は、「ローターアクト・インターアクト・青少年交換プログラム・RYLA」の計画が円滑に推進できるよう、各委員会と連携を図り適切な支援を行うということです。

分科会の冒頭、カウンセラーの杉川パストガバナーから「青少年奉仕における危機管理について」というタイトルでプロジェクトを用いたご講演がありました。

その後「国際的視野を持つ青少年を育成するための各委員会の活動について理解と共有を図る」を分科会のテーマとし、それぞれの委員会から年間行事等の活動内容と課題について報告がありました。そして最後に青少年指導者育成プログラム、所謂

RYLAの開催について各クラブに対し支援と協力をお願いがありました。報告の中であった大きな変更としては、これまで青少年奉仕委員会の中にあつたローターアクト委員会が、ガバナーから直結するそれぞれの委員会と同列の委員会として扱われることになったようです。組織図にも明記されています。

今回の地区研修・協議会に参加するにあたり、事前に地区事務所からRIのマイロータリーにあるラーニングセンターの中から、関係委員会のコースを事前学習として受講するように依頼がありました。直前に受講しようと思い、20日の土曜日にアクセスしたところ、前日からメンテナンス中ということで開けませんでした。何回かアクセスして、夜の11時過ぎにやっと受講することができ、ホッと致しましたが、なんと、受講後には修了証も発行されるという手の込みようで、研修の時も報告がありましたが、今後数年後には「地区研修・協議会」は「地区ラーニングセミナー」と名称変更しロータリーの学習の場に変貌するようです。

もう一つ驚いたことがあります。ラーニングセンターにある青少年奉仕の学習コースでは、分科会での杉川カウンセラーの冒頭の講演内容もそうでしたが、青少年に対する各種ハラスメントに関する内容だったので、些か驚きました。

海外の事例ではありますが、過去に青少年に対するハラスメントや事件が発生し、ロータリーとして危機管理の必要に迫られ、関係委員会として対応を求められているのだと思います。

基本的な対応としては、問題が発生した時にクラブや地区だけで処理するのではなく、必ず72時間以内にRIに報告することを要請しています。更にその対応に当たっては地元の警察や公的機関とも連携するよう求めています。

改めて地区の組織図を見てみると、危機管理委員会がちゃんと明記されおり、委員長には杉川パストガバナーが就任されていました。

以上で青少年奉仕委員会の報告を終わります。

奉仕プロジェクト部門

次年度
国際奉仕委員長
池田 美咲



地区研修・協議会について発表させていただきます。

次年度のテーマは「ロータリーのマジック」私たちが当たり前と思っている事が、まだまだ世界には戦争や貧困に苦しんでいる人達がいて、もっと手を差し伸べる事をしなければいけない、しかし物を与えるのでは無く、「知識を与え学びを教えなければ変わらない」また平和構築世界の分断を癒す為の取り組みとして、「4つのテスト」を実践する事により世界はより良くなるという事を言われてました。

今回は職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕の三つを学びました

基本方針として地区奉仕プロジェクト委員会は2024-25年度RI会長のテーマ「ロータリーのマジック」上田ガバナーエレクトの信条「行動しよう、未来の為に。=変革に取り組もう=」を受け、地区として奉仕の実践に取り組み、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕委員会の事業が、このテーマに沿って円滑に実現される様連携を図りサポートする事。

各クラブの奉仕活動をまとめた物を配られ、職業奉仕では広島安芸ロータリー「広島安芸RC似島学園支援奉仕事業、社会奉仕では広島南RC「環境問題に関する出前授業 事例発表」

国際奉仕西条RC[タイ山岳民族家庭崩壊児童施設への支援活動]の発表が有りました。

また 印象に残ったのは、カウンセラー井内ガバナーのお話で、若い人達が希望を持って生きて行くには、人々が仲良く争いが無く暮らせるような地域にしていく、その為には何が出来るのか考えなければならない、環境問題は生活を守る上では、欠かせない問題、またこれから色々な問題が有る中で「継続していく」と言う取り組みをしなければならない、その為には行動計画を作り、実行に移す事が大事、奉仕活動継続したうえで、ロータリーの活動は素晴らしいと自然に評価に繋がるのでは無いかと言われ

ていました。

国際奉仕としては、海外に行く事は出来ないにしても、三次に働きに来ている人や生活をしている人達に何か出来たら良いと思いました。

また平和公園の周りには、海外の方も多く若い人たちが平和を願う活動をしていて、平和公園と言う場所は改めて世界へ平和を訴えて行ける場所だと思いました。

今回は何事も無く無事に帰りました。

ありがとうございました。

ロータリー財団部門

次年度
ロータリー財団担当
平田 博紀



久方ぶりの中国縦貫道のバス旅行となった。あいにくの小雨で、黄砂もあり、薄暗い天候ではあったが、会場の平和公園の国際会議場は木々の青葉とハナミズキの花が色取り良く迎えてくれた。

昼食をとった料亭「相生」のおかみさんから、「小学生の時、サンフレッチェのサッカー場となっている八千代町に疎開した。家族を原爆で失ったのでその後は似島学園で育った。同学園はロータリークラブの支援を受けている」と聞かされました。

さて、私はロータリー財団部門に参加いたしました。ロータリー財団の使命はロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることです。

寄付金の地区目標は、

年次基金 150ドル/1人

恒久基金 ベネファクター 1人以上または1,000ドル

ポリオ募金 30ドル/1人

ということです。

会員の皆さんの理解と協力を得て、努めて参ります。よろしく願いいたします。

会員増強部門

次年度
会員増強委員長
杉谷優治



会員増強部門の報告をいたします。

昨日の協議会、私の都合で会員増強部門の分科会から出席いたしました。

分科会の全体の流れは、まず藤中カウンセラーの講話、そして事前に用意されたアンケートの結果発表、そしてグループ内意見交換、それから講評という次第でした。

席はグループ分けされていました。私のグループメンバーは、福山RC、広島安佐RC、江田島RC、山口南RC、萩RCの6名でした。グループ内で増強について意見交換しました。皆さん会員状況は現状を維持か減員と言われていました。

福山RCは85名の会員で内女性が2名、親子3代での会員が所属していますとのことでした。そして安佐RCは17名の会員で女性が1人、月額会費が50,000円、例会会場はリーガロイヤルホテルということで、びっくりいたしました。そして江田島RCは18名で女性は居られないクラブですが、このまま行くと合併か解散の声が聞こえてきそうですと話されました。そして山口南RCは会員39名のうち女性が8名在籍とのこと。

そして萩RCは45名の会員のうち女性が3名で、親子三代にわたるロータリアンで3代目の方が発言されて、オープン例会のことを協議すると「いらんことをせんでええ」と先輩から言われると話されていました。当クラブも女性が5名おられてクラブの雰囲気非常に和んでいますと紹介しました。

グループ内意見交換は有意義でした。

カウンセラー講評は、各クラブの会員状況を認識し、会員増強と会員維持の成功例を参考にして最重要課題として取り組んでいただきたいとのことでした。



米山奨学会部門

次年度副幹事 山縣 隆



第2710地区 2024-2025年度地区研修・協議会にて、安藤委員長の代理として米山記念奨学会部門に参加いたしました。

基本方針

日本独自の制度である米山記念奨学会も、また第2710地区も、制度の変更やルール改正に継続的に取り組み、引き続きロータリーの理想とする平和のための国際理解と親善に寄与することを目的とした、米山梅吉氏の崇高な精神を学び、原点を再考し、地区全体で理解実践していきましょう。

分科会のテーマ

1. 米山記念奨学金制度の独自性と米山記念奨学会の目的としている「将来、母国との懸け橋となって国際社会で活躍する優秀な留学生を奨学する」を改めて確認し、各クラブの米山委員長を通じて、地区全体に米山奨学事業への理解と協力を普及する。
2. 地区内での米山記念奨学事業の拡大に向けて、特に特別寄付に注力し、第2710地区の寄付目標額1人当たり16,000円を達成する。

分科会次第

1. 財団創立50周年記念で2017年9月に製作された「世界へ届け 米山の架け橋」というDVDを視聴しました。内容は、日本のロータリーの礎を築いた米山梅吉氏の生い立ちや、当事業の特徴、奨学生や国際親善交流を行い巣立った学友の活躍などが紹介されたもので感銘を受けました。
2. 米山奨学生とカウンセラーの卓話は、韓国か

ら山口大学に留学している李 東宇（イドウン）君とお世話をされたいる山口南RCの堀北美津子会員のお話でした。

イドウン君は山口南の花見例会やクリスマス例会などにも出席する他、桜の名所や川の清掃にも積極的に参加し、会員との交流を深めるとともに日本の文化を学び、将来は日韓の架け橋になり、日韓関係のために活躍したいと頑張っていることについて発表してくれました。4/25～27には国際ロータリー3690地区大会が韓国で開催され、井内ガバナーと共に通訳として参加されるそうです。

こうしたことで、お世話をされるカウンセラーの堀北さんは、韓国語の勉強をしようと不安の中で受け入れたそうですが、イドウン君の日本語が上手で全く言葉の問題もなく、楽しく受入れができていたとのことでした。

3. 米山記念奨学会HPと寄付増進について

米山記念奨学会のHPでは、多方面で活躍している奨学生や学友の活躍が紹介されているのでご覧になってみてください。

寄付金については、今期3月末時点での寄付額地区別、クラブ別の順位が配られ、1人当たり16,000円達成に向け、協力してほしいとのことでした。2023-24年度は14,000円の見込になりそうとのこと。後日、皆様にもご寄付をお願いしたいと思いますので、どうぞよろしく願いいたします。

■点鐘.....上田会長

